

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-シメンのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する急性毒性試験

試験番号

第 1 0 0 5 4 号

試験方法

本試験はOECD化学品テストガイドライン 203「魚類急性毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：p-シメン
- 2) 曝露方法：流水式（定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用）
- 3) 曝露期間：96時間
- 4) 連 数：1濃度区 1連
- 5) 供 試 魚：ヒメダカ(*Oryzias latipes*)
- 6) 供試魚数：10尾／濃度区
- 7) 試験水量：約9 l
- 8) 流量及び換水率：50 ml／分，約8回／日
- 9) 試験水温：24±2℃
- 10) 照 明：室内光，16時間明／8時間暗
- 11) 給 餌：無給餌
- 12) エアレーション：無し
- 13) 試験濃度：対照区，助剤対照区，1.0，1.8，3.2，5.6及び10 mg/l
- 14) 試験水中の被験物質の分析：ガスクロマトグラフ質量分析法（曝露開始時及び48時間後）

結 果

被験物質濃度の実測濃度が設定濃度の±20 %を超えたため，下記の結果は実測濃度より算出した。

- 1) 半数致死濃度(LC₅₀)
LC₅₀(96hr)：2.0 mg/l (Binominal法)
- 2) 0 %死亡最高濃度(96hr)：1.2 mg/l
- 3) 100 %死亡最低濃度(96hr)：3.4 mg/l